



陰陽五行論塾Contents

六十干支詳細 (41~60)

4 1 甲辰 ◆ 性格 ◆

性格は、激しい気質が内面にありますが、それが外側に現れてきません。

内面に持つ性格の激しさから、運勢も時には荒くなり、それだけに人生の壁が大きい人にもなります。

人生の壁が厚く大きい時はそれを乗り越えるのは至難の業です。その時に一歩ずつ神の領域に入っていくことになります。

神の領域に入っていくとは、信仰心が段々芽生えていくということです。

そのため、人生を経過していくごとに信仰心が厚くなり、若い内は全くの無信心の人であっても、年を取ってくると信仰心が芽生えていきます。

その信仰心も自分のためではなく、家族のため、皆のため、多くの人のためと段々に広がっていきます。

日常の心の在り方は段々と地味になっていき、控え目に自分の置かれた環境に逆らうことなく努力していく人です。

4 1 甲辰 ◇ 生き方 ◇

生き方は、控え目ながら一つのことに集中する所があります。

人生の荒波も経験し、自分の経験を頼りに進んでいきます。

ある意味において、揺るぎのない信念を持って我が道を進みます。

控え目な行動でも、その生き方には集中力もあり、激しい所もあります。

それだけに反対者も多く生まれるでしょうが、そんなことは、ものともせず進んでいくことです。

ただし、女性の場合、仕事を取るか家庭を取るかの選択を迫られる場合があるでしょう。

どちらも両立する器用な生き方ではありませんので、どちらかに決めなくてはなりません。

4 2 乙巳 ◆ 性格 ◆

性格は淋しがり屋ですが、表面の華やかさで包み隠すようになります。

精神状態は常に不安定、何かに頼って生きたい、誰かに頼りたいとの思いが強く、孤独感に恐怖を抱くような所があります。

しかし、なかなか自分の心を開かず、引っ込み思案のような所もありますので、周りの人に誤解されることもしばしばあるでしょう。

特に、両親の育て方がこの人の性格形成に大きく関係します。

親がこの人の淋しさを理解できる場合は、良きアドバイスが出来て人生が安定しますが、親が気付かない場合は、人生が不安定となってしまいます。

4 2 乙巳 ◇ 生き方 ◇

生き方は、表面の華やかさを生かし、芸能の世界に入ることも良いでしょう。

同じ芸能の世界でも、タレント等ではなくやや地味な生き方が良く、例えば舞いや舞踊、バレエの世界、ヨガ等が良いでしょう。また、年若くして親元を離れ自立した生活を送り、内面に淋しさを抱きながら、表面的には派手に生きていくことも一つの生き方となります。

特に海外のように遠くの世界に行けば行くほど運が開けるでしょう。

ただし派手に生きる場合は異性との交際に問題が生まれます。本来の自分の運に合わない人と交際してみたり、常軌を逸した人との交際になってしまったり、不倫の恋に落ちることもありますので注意が必要です。

4 3 丙午 ◆ 性格 ◆

見掛けは大人しい人ですが、内面は強烈な個性を所有しています。

付き合いが長くなると、その強烈な魅力と、大きな欠点の両方が感じられるようになっていきます。

運勢はとても良い強運の持ち主ですが、運の上下も激しくなり、平凡で安定的な人生は期待できません。

この人の運勢はあまりにも強過ぎることで、周りの人に与える影響力も強烈となってしまいます。

特に家族、両親、兄弟に与える影響が強いものとなり、大体において家族の犠牲の上に運が成り立つような時が出てきます。

そのような時は神から孤独の罰を受けることになるでしょう。

もともと天将星を所有する人でもあり、「人の高みに登った者は孤独の罰を受ける」という天将星の意味が常について回ります。

4 3 丙午 ◇ 生き方 ◇

生き方は当然、平凡な人生は望めないなので、そのような生き方を望めば運が伸びません。

困難や苦難が大きくなればなる程、飛躍のチャンスが大きくなる人です。

勿論、若い時にどれだけ苦しい生活をしてきたかが、人生のスタートの差を付けてしまいますので、この干支を所有する人は子供の時から決して甘やかして育ててはいけません。

厳しい環境におき、スパルタ教育に徹することで後年に伸びが大きい人となります。

ただし、女性の場合は余りにも運が強過ぎて、夫をないがしろにしたり、力カア天下になってしまったり、毎日毎日が平凡な主婦業ですと、何となく不平不満が蓄積してしまうので、如何に自分の有り余っているエネルギーを使っていくかに工夫の要る生き方となります。

4 4 丁未 ◆ 性格 ◆

性格は、見掛けは大人しく穏やかで、無理をすることがありません。世の中の流れ、周囲の状況に逆らうことなく進んでいくような質となります。そのような性格から、自己の心を自ら語ることなく、どちらかと言うと引っ込み思案のようになり、人から誤解されやすい性格となります。

しかし、自分のことではなく、人のことを語る場合は、ある面では激しさがあがり、批判力が旺盛であり、時には言葉で相手を傷付けるようにもなり、相当な毒舌家でもあります。

このように、外に見せる性格と内面に隠れている性格の差が激しい人でもあります。

外側は自然に逆らうことの無い従順な生き方であり、穏やかな質ですが、しかし内側は自我が強く、自らの決心は何があっても曲げない強さがあります。

それだけに目的に向かう時の心は相当に強く、何処までも突き進んでいき、もし失敗をした場合の反動やショックも人一倍大きくなります。

4 4 丁未 ◇ 生き方 ◇

生き方は、自ら語ることがなく表面が温和であっても、その底力は強大ですので、その強い力を生かしていくことが良いでしょう。

心の頑固さがあっても表面は柔和なので、あまり人の上に立って激しく進んでいくよりは、出過ぎることなく、進み過ぎることなく、やや先頭に近い補佐役で人生を進む時が最も良いでしょう。

しかし、このような生き方をすると、自分自身を追い抜いていく人も中にはいるでしょう。

その時には自分のはやる心が起因となり動きたくなりますが、焦りは禁物です。

人生の途中の勝利(一時的なもの)より、最後の勝利(その人の一生の評価となる)を掴むことを考えて生きて下さい。

人生における活躍の場は、大変幅が広いようです。

現実的な商売が特に向いているようです。

4 5 戊申 ◆ 性格 ◆

性格は、状況判断能力に長けており、現実の状況に逆らわず、上手く身を処していきます。

思考的には当然の如く偏りがなく中庸の心ですが、人からは変わり身の早い、計算高い人に見られます。

しかし、心の中には、しっかりとした信念があって、その信念に基づいて動く人になり、物事のまとめ役等で活躍するようになります。

もし争い事があれば、それには加わらず、最後に出番が来ても、上手くまとめながら解決をしていきます。

4 5 戊申 ◇ 生き方 ◇

生き方は、じっくりと周りを見回す生き方となるので、人生を急ぐことは良くありません。

焦りは禁物です。

現状の流れに上手く乗っついていながら、強者にも、弱者にも、付かず離れずの動きを旨として、外面のクールさで生きることが良いでしょう。

また、頭の良い人ですから、争い事の解決に知恵者としての出番がありますので、世の中の調停役の生き方も良いでしょう。

的確なアドバイスを他者に与えて、他者や世の中の役目を果たしていくようになります。

4 6 己酉 ◆ 性格 ◆

性格は、素直な質がありますが、同時に冒険的な心も所有しています。

自分の力で我が道を進むような所もあり、運のスピードは決して早い方ではありませんが、確実に着実に前進していく性格となります。

そのためにも本人の努力が大切となり、運の進展は自分の努力が基本となる人です。

このような人は自分の置かれている環境が大切で、素直な質を有していることから、親元にいてぬくぬく育つことが多いようですが、その場合は努力しない人となってしまう、運は伸びないでしょう。

もし貧しい家に生まれた場合、または苦難の多い人生を歩んだり、厳しい親に育てられた場合、素直な質はそのままで努力を続けていくと、相当に自分の内なる資質が開発されていきます。

結果として、人生で大きな活躍をしていきます。

努力の分量が、成功の分量と比例していく人となりとなります。

4 6 己酉 ◇ 生き方 ◇

生き方は、何事も自分で切り開いていくようになり、まだ誰も手掛けていないような仕事等を自分で開拓し、切り開いていく所に発展があります。

じっくりと、確実に、慌てないで人生を進む意識を持つことで、成功していきます。

47 庚戌 ◆ 性格 ◆

性格は、柔和であり、優しさがああり、人格者に見えます。

しかし、その内側には強い闘争心が隠れているので、心の中はかなり頑張り屋さんの質が強くなっています。

どのような環境に置かれても、表面は変化なく周りの人に合わせていきますが、決して心は同調している訳ではありません。

心は激しい質ですが、表面の優しさで上手くカバーし、人生の傍観者の的になりやすく、組織・集団の中で上手く立ち回ることが出来ても、ややもすると自分だけの世界を形成することがあります。

とことん追い詰められても、相当に余裕と底力のある人です。

どんな窮地に陥っても、何度も這い上がっていく力量を有しています。

4 7 庚戌 ◇ 生き方 ◇

生き方は、見掛けとは裏腹に、平和な時代よりは動乱の時代に活躍の場があります。

しかし誰もそのように受け止めてはおらず、大人しく優しい人と見ているでしょうから、その時には本人も辛いでしょうが、それを気にすることなく進む所に運の伸びが生まれてきます。

このような人は、平和な時代にあって決まり切った仕事とか、細やかな仕事では運が伸びませんので、思い切った転身を考えることが良いでしょう。

安定的な環境ではなく、不安定な環境に飛び込むことで人生の活路が開きます。

また不安定な環境に居た方が、資質が輝き世の中で活躍していくのです。

4 8 辛亥 ◆ 性格 ◆

性格は、心の脆さと強気の面との二面性があります。

その両極の感性のぶつかり合いから葛藤を生じ、結果的に靈力を身に付けていきます。

一般的に直感力の鋭い人として現れていきます。

本質的に所有する感性で相手を判断することも多く、好き嫌いの激しい人となります。

また、夢・空想等に憧れる質も強く、実現不可能なことを考えたりするロマンティックな所も強いようです。

しかし、その空想力・夢等も実現不可能ではあっても、現実から全く離れたものではなく必ず現実的な範囲で留まっています。

4 8 辛亥 ◇ 生き方 ◇

生き方は、強気の面と心の弱い面が交差して出てきますので、逞しい活躍とはなりません、どのような分野でも自分の夢を先行させて進んでいきます。

しかし、夢に走る余り実力がついていかず、学術的なもの、芸術的なものの要素があっても伸びにくくなります。

やはり現実的な生き方より、精神的生き方が成功し易いのです。

更に、宗教とか人助けの特殊な世界で伸びていく要素もありますが、その場合は人間性を向上させ、堅苦しさのない自己を形成していく必要があるでしょう。

ただし、何のような世界であっても必ずトップの役割の一つ下の参謀とか、補佐役、大切な右腕のような存在でいることが伸びる要素となるでしょう。

49 壬子 ◆ 性格 ◆

性格は強い人ですが、世渡りに関して、ずるさとか巧みさを持っている人になります。

人間性が高まらないと、「上手く生きている」というよりは、「小ずるく生きている」という側面が強く出てきます。

そのため、品性のようなものは余り高くありません。

当然のこととして、運勢も強運ですので、運の上下が激しく現れる時があります。

確かに頭の良い人が多いことは事実ですが、学者・芸術家になるよりは、大衆の中に入って知恵を使うことが多くなります。また、理性的な質が強いのですが、人から頼まれ事をされたり頼られてしまうと、嫌とは言えない情的な面を併せ持ち、一本気のような所が現れます。

しかし、どんなに人から慕われましても、心の状態が孤独であることも事実です。

49 壬子 ◇ 生き方 ◇

生き方は、持ち前の知恵を使って、現実的な見極めの良さを生かすことが良く、なまじ精神性を出さない方が思い切ったことが出来るでしょう。

そのためには品性も必要なく、人間性を落とした方が大成(物質等には恵まれます)出来る生き方となるでしょう。

ただし、人からの評価は悪くなりますので、益々孤独感が強くなっていきます。

また、親のすねをかじらず、自分の力量で新しい世界を切り開いて行き、特に海外に飛躍すること等、または新規分野に飛び込むことが良く、生きていく世界は現実的な職業範囲である政治・経済界となります。

50 癸丑 ◆ 性格 ◆

性格は、知的で静か、あまり自己表現をしない人になります。

人生を慌てずのんびりと過ごす人でもあります。

そして自我を押し出さずに、大人な対応をする方が多いのも特徴です。

しかし、一度何か追いつめられることがあると、相当な反発力となって現れてきます。

反発心が現れたとき、相手が嫌がること、相手がこたえること、相手がズシーンと心にこたえるようなことを平気で言ってしまう。

その時の激しさは目を見張るような所があります。

50 癸丑 ◇ 生き方 ◇

生き方は、のんびりしているような所があり、好き嫌いを余りはっきり言うことはありません。

心の中には相当の「こだわり」があったり、明確に好き嫌いを分けています。

そのため、自分の行動範囲がどうしても好きなものの方向に偏っていったってしまうため、組織・集団の中での生活が苦手になっていきます。

そこで、単独で自分のペースで出来る仕事に向くようになります。

単独で生きていくと、元来の内在するパワーが発揮され、年を取っても若々しさを何時までも失わず、とても前向きな生き方となります。

聡明さとパワフルさを兼ね揃えた人物として、現実世界の中で活躍していきます。

5 1 甲寅 ◆ 性格 ◆

性格はしっかりとしていて、周囲から頼りにされるような人になります。

明るい質が強く、他者を楽しませ、夢や希望を与えていきます。

特に対人関係に性格の良さが発揮され、自然と仲間や組織の纏め役になっていきます。

心では意外と神経を使うようですが、表面は大らかになっています。

また、頭も良く、アイデア等に優れたものがあります。

5 1 甲寅 ◇ 生き方 ◇

生き方は、庶民性が強く、器の大きい所があり、庶民と共に歩んでいきます。

思考的にも大きなものを持っていますので、何のような考え方でも受入れるような生き方となっていきます。

天性の補佐役ではありますが、自力運的な要素が強く、若い時はじっと時を待ち、目上の命ずるままに動いていき認められますが、晩年になりますと自分の意志で動く生き方が良いでしょう。

何のような世界に進んでも、補佐役としては大成します。

従って、補佐役として生きて行くことが自分の役割となります。

しかし、自分がトップに立つのであれば、当然のこととして苦労が増える生き方にもなります。

5 2 乙卯 ◆ 性格 ◆

性格はやや「甲寅」と似ていますが、更に人間性が柔らかくなり、表面の柔となっていくきます。

しかし、内面の性情は、しっかりとした所があることも、事実となります。

明るい性格と人付き合いの良さで人間関係を重視していきます。

また、身内思いの質も強く、今現在を大切に守っていくようです。

性格的に用心深く動く質もあるので、人生の波が少なくなったり、動きが安定して運の上下があまり出なくなります。

ただし、男性と女性ではその性格にやや違いが出るようです。男性の場合は、内面の質は頑固ですが、表面は柔らかく協調性を出していきます。

女性の場合は鼻柱の強い人だったり、気が強い家庭の主婦になっていくようです。

5 2 乙卯 ◇ 生き方 ◇

生き方は、堅実で目立たない生き方となります。

そのため、若い時には余り頭角も現れませんし、実力が出せません。

役割は、人々の中心的な役割、丁度、扇の要のように、全体を纏めていくような仕事に進むと良いでしょう。

この生き方も甲寅と同様、組織・集団の長となっていながら全体の管理者に対する補佐役の生き方で運が伸びていきます。

当然、力量も大きいし、現実の力もありますので、世のため人のために奉仕的に生きていくことも良いでしょう。

5 3 丙辰 ◆ 性格 ◆

性格は強く、人間性は暖かい特徴があります。

心の中には、かなりの葛藤がありながら、前向きに進んでいきます。

しかし、余りにも勢いがあり過ぎ、時には周りの人とのぶつかり合いが、出ることがあるでしょう。

特に相手を批判する時には、相当に激しいものの言い方になって現れるようです。

どんなに悩みがあっても苦しみがあっても、若さ溢れる人であり、その若いパワーで乗り切っていきます。

ただし、年の取り方があまり上手くなく、若い時は問題になるような行動をした時でも、若気の至りで許されますが、年を取ってくると、周りの人を困らせるような、己の限度を越えた動きや、常識外れの動きをすることがあります。

5 3 丙辰 ◇ 生き方 ◇

生き方は、自分の目的をしっかりと持った時に、何者にも負けないだけの力が出ますので、自分の夢・希望を大きく持つ生き方となります。

現実生活に於いて、自分本位的な生き方になると波乱が多くなるので、充分に注意して下さい。

元々一本気な性格で、危険が目の前にあっても、自分の立場、周りを顧みず突進してしまうことがありますので、常に危険が付いてまわります。

もし、危険を避けたために自分の夢が破れることがあっても、力量が消えるような人ではなく再起可能ですので、次回のチャンスを生かす生き方も悪くありません。

5 4 丁巳 ◆ 性格 ◆

性格は、人当たりの柔らかい優しい心の持ち主で、暖かみもあり、大局的な所もあります。

しかし心の中は相当に頑固な質があり、自分の言ったことは決して諦めないような執念深い所もあります。

また、人情脆い所もあり、人の面倒見も良く、自分の身近な人の世話は損得抜きで尽くしたり、骨身を惜しまない行動をします。

そのため、何でも自分で引き受けてしまうような損な役回りになる時もありますが、本人は嫌がらずに尽くし、その行為をしている時に満足することになります。

5 4 丁巳 ◇ 生き方 ◇

生き方は、自分のペースを守っていくような生き方が良く、本人は考えながら行動しますが、余り世の中の表舞台に出ることはなく、単独の力量で自らの世界を作り上げていくことが良いでしょう。

そのように生きていくと、時間の経過と共に、徐々にその仕事に価値が出てきて、自然と有名になっていったり、世の中の表舞台に押し出されていくようになります。

しかし、世に出て行くのは、中年から晩年になってからになるでしょう。

生きる世界は、大衆に明るい芸術とか、明るい文学等を与えていく仕事が良いでしょう。

または創造能力が高いことから、企画をするような無から有を生み出していくような仕事に向かっていくと、大いに飛躍していきます。

5 5 戊午 ◆ 性格 ◆

表面は大人しく、あまり心を動かすことがない人ですが、決して暗く冷静な人ということもなく、明るい質の人になります。しかし、内面は非常に強さを秘め、個性にも溢れている人です。ただし、その内面の強さ、冷静な判断力、偏屈と言ってもいいような個性が出てくることが少なく、何かのきっかけがないと表面に現れません。

性格的に粘り強い所がありますが、反面には諦めの良い所もあり、とことん粘って駄目ならば一切諦めるような心の持ち主となります。

思考力は良いものを持っていますが、それが特殊な能力となったり、または全く駄目人間となったりする二面性があります。

自己中心的な心がありますが、性格的にはスケールの大きな所もあり、その自己中心的な面を切り捨て、大きな人間性を出していけば多くの人から慕われる存在となる人物です。

5 5 戊午 ◇ 生き方 ◇

生き方は、平凡な生き方に馴染まず、もし平凡な親の元に生まれ、平凡な生活を望むと、全く運の開発が出来ません。

しかし、運が開発されたとしても一代運となっていき、子供にはあまり恵まれません。

もし子供が生まれても、子供よりは孫と縁があるようです。

何れにしても周りの状態がどうであれ、全て自己の努力に掛かっています。

自分自身で努力し、様々な分野の物事を吸収してくことが出来れば、思考力は凡人以上のものがありますので、後々役に立つことがあるでしょう。

大器晩成の人物ですので、このような子供が生まれましたら、行く末を信じて厳しく育てていって下さい。

5 6 己未 ◆ 性格 ◆

性格は、理性も強いのですが、どうしても感情の方が出やすい人になります。

また、性格も自分を律する事が強く出来る人間性で、我慢強く、自分の感情を抑え耐えていきますが、限度を超えると、激しく爆発もします。

しかし爆発する寸前までは何とか理性とか、中庸の気質、次のチャンスを待つような状態で抑えていきます。

そのため、男性であれば忍耐力もありながら、何処かあっさりとした人になります。

女性だと、かなり気の強い質となり、自分の気持ち等を相手にぶつけたり批判精神が強くなって現れます。

何れに致しても、爆発的に力量が出た場合は別として、穏やかな大人な印象の人になります。

5 6 己未 ◇ 生き方 ◇

生き方は、人生をゆっくりとマイペースで進んでいきますが、自分の夢が破れ、全く違う分野に転身するようなことがあります。

また、環境的にも如何に平穏な生き方をしていても、人生の途中で変化に巻き込まれやすい生き方となります。

変化の時期が何時現れるかは後天運に尋ねないと答えが出ませんが、何時でも人生の急変に対して覚悟をしたり、新しい人生のスタートが切れるようにする意識を持っていると良いでしょう。

しかし、最後の最後まで努力をしなくては、新しい生き方が始まりません。

5 7 庚申 ◆ 性格 ◆

性格は攻撃的な質が強いのですが、人生に対しては安全主義、用心深い質が強くなっていきます。

当然、理性的な面も所有しますので、時と場所に応じて、自分の持つ攻撃力を駆使していきます。

性格的には、強い自信を欠かすことがなく、何事に対しても前向きに対処していきます。

また、相手の言うこと等をうわべで判断することなく、人生経験等を主にして本質的な所を上手く突いていきます。

一度動き出したら留まることがなく、前進するのみの性格で、自己を確立したり、親離れをすることも早い人となるでしょう。

5 7 庚申 ◇ 生き方 ◇

生き方は、理性も強いのですが、行動力もあり、かつ、一度動き出したら後戻りすることもありますので、人生のスタートが肝心な人となります。

もし、世の中の常識や決まり等を見捨て、自分の思い通りに進むと、駄目人間、社会の迷惑者となってしまうでしょう。

しかし、世の中のルール、常識等を心得た上での逞しい行動力であれば、運勢も無理なく上がっていくでしょう。

そのために、如何に若い時代に常識とか教養を身に付けるかが大切になってくるので、子供の時の家庭環境が、人生に対してかなりの影響を与えます。

ただし、世の中の常識だとかルールが見捨てられるような変化の多い時代であれば、教養も常識も持ち合わせていない方が、有利となる動き、生き方が出来る人にもなります。

5 8 辛酉 ◆ 性格 ◆

性格は強い所があり、自己主張には特別な激しさがあります。
それだけに自己の正当性、理論性等も主張するようになります。
何れにしても、相当に頑固な面のある人物です。

しかし、何か自己の信念で進める学問の世界、研究を必要とする
ような世界においては、その内面の頑固な質、決して自己を曲げ
ない質が有利になるでしょう。

ただし、世渡りに関しては、それだけ融通も効かず、偏屈な人と
言われることになるでしょう。

何れにしても、自分の世界の中で力強く自己を主張していく人
です。

5 8 辛酉 ◇ 生き方 ◇

生き方は、力強い天禄星になる人ですが、理性的な生き方、また、自分の知的な面を生かしていくことが向いています。

特に論理性が高いため、理数系で活躍出来るような頭脳構造となります。ただし、現実的な商人・事業家等の世界に進むと、どうしても実力が発揮出来なくなります。

また、派手な人物でもなく、派手な生き方も向いてはいませんが、その活躍の場が特殊な世界になりやすく、特に一つのテーマを追い求めていくような研究者・学者、或は教育者等が良く、もし、他の世界であれば、大企業、あるいは官庁等に進み、堅実に生きていくことが波乱のない生き方になります。

しかし、世の中が動乱状態になりましても、かなりの活躍が出来る人となります。

特に、参謀・軍略家としての力が出てきます。

5 9 壬戌 ◆ 性格 ◆

性格は落ち着きのある人であり、浮ついた所が少なくなります。
あまり行動力がある訳ではないのですが、物事の本質を見極めようとして、着実に何事でも吸収していくような所があります。
思考力も、努力を必要としますが、かなり優れたものになっていきます。

その思考力は、学者的な領域に留まらず、現実在即した思考力となっていくます。

感性等も強く、物事から何かを掴み取る術も心得ている人です。

5 9 壬戌 ◇ 生き方 ◇

生き方は、現実的な部分においての知恵が豊かな人物ですので、現実的な範囲であれば、何のような分野においても着実に伸びていく人です。

焦らずに、何事に対してもじっくりと対応して、時間を丁寧にかけて努力を積み重ねていくと、晩年にかんがりの高みに登っていくことになります。

しかし、若年期から努力を積み重ねると、運の伸びが普通の人よりも早いことがあり、ある面では傲慢な人物になったり、我儘な人物になってしまうこともあります。

従って、人生行程の中で、必ず自己を見つめ直す必要があります。自分自身を本質に導いてくれる師匠や学びの機会を持つことです。

ただし、何のような世界であれ、自分の目的、あるいは、野心に燃えて進んでいく時は見事な生き様となっていくでしょう。

60 癸亥 ◆ 性格 ◆

性格は、羽目を外すことが少なく、あまり自己を語ることがなく、何処かに影があり、何となく重苦しい雰囲気がある人になります。

しかし、その反面、我慢強い所、忍耐力の強い所があります。

また元来の高い聡明さから、理性的な生き方となります。

更に社交性もありますので、どんな人とも自分を合わせていける性格となります。

ただし、自己の本質まで崩して相手に追従していったり、お世辞等と言えるような人ではありません。

どんなに大人しく自己を語ることが少なくても、周りに与える影響力は、良くも悪くも大きい人物となっていくます。

また、本人は平凡で地味な生き方を望んでいきますが、なかなか望みが叶わず、変化の多い環境が与えられているようです。

60 癸亥 ◇ 生き方 ◇

生き方は、地味に堅実に歩むことを望み、そのような生き方が向いているのですが、その場合は、世の中の主流の中には入ることが出来ず、人生に不満足感が強くなってきます。

しかし、それで良しとする人生か、あるいは、思い切って全力を出すことを選ぶのも良いでしょう。

その場合でも、主流の中で活躍するのではなく、世の中の裏街道、裏側の世界で活躍することで認められる存在となっていくます。